

行動計画での位置付け		目標項目	数値目標 (32年度まで)	数値目標設定の考え方	これまでの推移等	
I 生き方デザイン形成支援	1 生き方デザイン形成（自分づくり）の支援	① 青少年活動センターにおける地域交流事業【目標数値再設定】	65件	過去の最高値（平成25年度：60件）の約1割増	<p>青少年活動センターにおける地域交流事業 (新目標数値) 65 (25年度目標数値) 55</p>	
	2 青少年のチカラを活かした社会づくり	② 青少年活動センターで活躍するボランティア数【目標数値再設定】	970人	平成15年度から20年度（実績788人）までの5年間の増加数（182人）を、平成20年度から32年度までの増加数として当てはめた数値 ＜本市の政策評価の中で平成32年度目標値として設定＞		
		③ 青少年（13歳～30歳）が参画している審議会等の割合【目標数値再設定】	20%	過去の最高値（平成21年度：17.1%）の約1.5割増 ＜本市の政策評価の中で平成32年度目標値として設定＞	<p>青少年が参画している審議会等の割合 (新目標数値) 20 (25年度目標数値) 18</p>	
	3 情報共有の仕組みづくり	④ ユースアクションプラン認証事業数【目標数値再設定】	190件	過去の最高値（平成26年度：177件）の約1割増		
		⑤ 青少年活動センターによる若者文化の発信事業の参加者数【新規】	1,990人	青少年活動センターにおいて実施している主要な事業「Live Kids」及び「ユースシンポジウム」の参加者数の合計（平成26年度：800人）を基に、毎年度2割増で算出	<p>【新たな目標数値】青少年活動センターによる若者文化の発信事業の参加者数 1,990</p>	
II 困難を有する青少年がよりよく生きるための支援	1 早期対応	⑥ 京都若者サポートステーションの支援により、就職した人数【新規】	140人	平成27年度から厚生労働省が若者サポートステーションに対して設定した目標値（年間140人）に準拠		
	2 解決支援	⑦ 子ども・若者総合支援により、困難を有する子ども・若者が、自立に向けて改善した割合【目標数値再設定】	70%	事業開始後の最高値の実績	<p>子ども・若者総合支援事業の取組により、自立に向け改善した青少年の割合 (新目標数値) 70 (25年度目標数値) 30</p>	
					<p>【これまでの目標数値】若者サポートステーションにおける就職等進路決定者（累計） (各年度目標数値) 216</p>	

